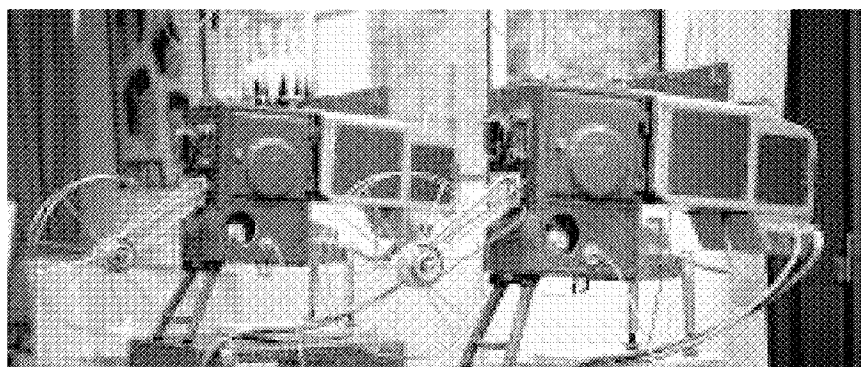


令和6年度 第2回

羽島市歴史民俗資料館 運営協議会

■と き 令和7年2月19日（水）

■ところ 羽島市歴史民俗資料館 映画資料室



出席者（敬称略）

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ・不破 洋 | ・平松 俊英 | ・渡邊 修 |
| ・松下 友幸 | ・桐井 康次 | ・武山 昭見 |
| ・柘植 卓伸 | | |

- ・市民協働部／生涯学習課
-

歴史民俗資料館運営協議会の設置について

【 羽島市歴史民俗資料館条例 】

(資料館運営協議会)

第 1 4 条

資料館の適正な運営を図るため、資料館に羽島市歴史民俗資料館運営協議会を置く。

- 2 運営協議会は、市長が委嘱する委員 1 0 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は 2 年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

【 羽島市歴史民俗資料館条例施行規則 】

(運営協議会の構成)

第 1 3 条

条例 1 4 条に規定する羽島市歴史民俗資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）の委員は、次に掲げる者のうちから委嘱する。

- (1) 学校の長
- (2) 社会教育委員
- (3) 文化財審議会委員
- (4) 歴史民俗資料に関し知識経験を有する者
- (5) 映画資料に関し知識経験を有する者

(運営協議会の長)

第 1 4 条

運営協議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、運営協議会の会務を総理する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指定した委員がその職務を代理する。

(運営協議会の会議)

第 1 5 条

運営協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 定時の会議は、年 2 回とし、必要に応じ、臨時に会議を開くものとする。
- 3 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 4 協議会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

令和6年度 羽島市歴史民俗資料館運営協議会

1. 委員

番	氏名	委員の区別	委嘱期間
1	不破 洋	3号委員	令和6年4月 1日 ～ 令和8年3月31日
2	平松 俊英	1号委員	
3	渡邊 修	2号委員	
4	松下 友幸	3号委員	
5	桐井 康次	4号委員	
6	武山 昭見	4号委員	
7	柘植 卓伸	5号委員	

〈委員の区分〉

- 1号委員 学校の長
- 2号委員 社会教育委員
- 3号委員 文化財審議会委員
- 4号委員 歴史民俗資料に関し知識経験を有する者
- 5号委員 映画資料に関し知識経験を有する

2. 市民協働部

部 長	伊藤佳津子
生涯学習課 課長	岩田 睦巳
生涯学習課 主事	大野 瑞季

3. 歴史民俗資料館・映画資料館（職員）

館長代理	松下 友幸
管理係長	奥田千登勢
管 理 係	杉山 文彦
	岩田 和也

第2回運営協議会 会議次第

I 市民協働部挨拶

II 会長挨拶

III 議 題 （進 行：会 長）

1. 令和6年度／事業報告について

（1）事業報告（企画展 他）

（2）寄贈採納

（3）入館者の状況

2. 令和7年度／事業計画（案）について

（1）経営方針

（2）事業計画 （企画展・マイコレクション展・映画のつどい等）

（3）年間計画表

IV その他 意見交換

V （閉会后）企画展参観

令和 6 年度 事業報告（経過報告）

1. 指定管理継続の決定 (公益財団法人羽島市地域振興公社)

- ・ 令和 6 年 4 月 1 日～令和 1 1 年 3 月 3 1 日

2. 企画展 〈別 紙〉

3. 「昔のくらしと道具展」小学生（3年）体験学習

- | | | |
|-------------------------|-------|------------|
| ・ 1 月 1 7 日（金） | 桑原学園 | 〈 1 0 名〉 |
| ・ 1 月 2 8 日（火） | 小熊小学校 | 〈 2 4 名〉 |
| ・ 1 月 3 0 日（木） | 足近小学校 | 〈 3 3 名〉 |
| ・ 2 月 4 日（火） 6 日（木） | 竹鼻小学校 | 〈 1 0 2 名〉 |
| ・ 2 月 1 4 日（金） | 中島小学校 | 〈 2 8 名〉 |
| ・ 2 月 2 6 日（水） 2 7 日（木） | 福寿小学校 | 〈 9 3 名〉 |

4. 映画のつどい 〈別 紙〉

5. 夏休み歴史教室（小学生対象） 〈別 紙〉

6. マイコレクション展 〈別 紙〉

7. ワークショップ開催

- ・ 6 月 1 6 日（日） 和紙人形のモビール作品づくり体験
- ・ 7 月 7 日（日） 熱帯魚のモビール作品づくり体験
- ・ 8 月 3 日（土） 夏休みの作品をつくろう（ペーパーリーフ）
- ・ 1 1 月 2 3 日（土） はじめての木彫り体験

8. 古文書学習会

- ・ 開催日 令和 6 年 5 月から毎月第 4 土曜日（全 1 1 回）
- ・ 会 場 羽島市歴史民俗資料館 研修室

- ・ 講 師 高木 先生
- ・ 年会費 2, 0 0 0 円
- ・ 会員数 1 4 名〈公募などにより募集〉

9. 俳諧歴史入門

- ・ 開催日 令和 6 年 5 月から毎月第 1 金曜日（全 1 1 回）
- ・ 会 場 羽島市歴史民俗資料館 研修室
- ・ 講 師 高木 先生
- ・ 年会費 2, 0 0 0 円
- ・ 会員数 1 1 名〈公募などにより募集〉

10. イベント開催

- ・「市制 7 0 周年記念 広報はしま展」（ロビーにて）
- ・ 7 月 1 3 日（土） 神山監督講演会
- ・ 1 0 月 2 6 日（土） 市制 7 0 周年記念 秋山先生「宝暦治水の歴史像を
めぐって」講演会
- ・ 1 0 月 5 日（土）～6 日（日）第 7 回「テツドウモケイ運転会」
東海道新幹線開業 6 0 周年記念 名鉄新羽島駅バリアフリー化 5 周年記念

11. マスコミ取材関連

- ・ 岐阜新聞、中日新聞、CBC ラジオ、岐阜ラジオ、CCN、ぎふチャン
- ・ 羽島ホームニュース、羽島新報、はしまる

12. 寄贈採納

〈 別 紙 〉

13. 所蔵品貸出（羽島市歴史民俗資料館条例施行規則）

- ・ 杉浦重勝公所用 （長旗、蔵） ☞ 関ヶ原古戦場記念館
（4 月 1 8 日～5 月 2 8 日）

14. その他（工事関係）

- ・ 1 1 月 2 7 日（水）和式トイレの洋式化工事完了
- ・ 1 2 月 1 5 日（日）「四戦場之図屏風」資料館搬入、設置

令和6年度 企画展実施報告

○ 企画展1

「アニメーションの歴史展」

2024年4月6日（土）～6月16日（日）

アニメーションとは、本来動かない絵や物体をコマ撮りと映写によって、動いているように見せる表現技法のことを指します。このトリック技術の進歩により、動画が当然のように溢れる現代ですが、静止画像を動画にするために人々は長い年月をかけてきました。

昨年度、映画評論家の森さんからアニメに関する貴重な品々の寄贈を受けました。太古の昔から現在に至るアニメーションの歴史を森さんのコレクションと共にたどる企画展でした。幅広い年齢層に支持される企画となりました。

○ 企画展2

「神山征二郎の軌跡展」

6月29日（土）～9月16日（月・祝）

神山征二郎氏は、「ふるさと」（昭和58年）や「ハチ公物語」（昭和62年）など、今までに32作品を生み出し、現在も非常に評価の高い岐阜市出身の映画監督です。

当映画資料館に興味をもっていただき、神山氏の企画展を提案した所、快く承諾していただきました。そして一部資料を寄贈していただき、また多くの貴重な写真や台本を貸していただくことができました。岐阜県出身の著名な映画監督に焦点を当て、神山映画の魅力や人間性に迫る企画展としました。神山監督に寄贈いただいた品々は企画展終了後に常設として展示してあります。

○ 企画展3

「八神城と毛利氏展」

10月5日（土）～12月15日（日）

八神城は毛利氏が本拠を現在の地（羽島市桑原町）に遷した際に築いたと推定されます。毛利氏は、美濃土岐家、斎藤家、織田家、豊臣家に仕え、関ヶ原合戦前には徳川家の家臣となり、尾張徳川家の重臣として江戸幕末まで続いた名家です。また、名古屋城への登城のため八神街道や八神渡しといった、多くの足跡を残しました。

企画展として初めて焦点を当て、今も残る貴重な縁のある数々の資料や建物（各地に残る八神城の遺構）の写真などを展示紹介し、羽島の地に存在していた八神城や毛利氏の歴史を知る機会となりました。

○ 企画展4

「昔のくらしと道具展」

2025年1月7日（火）～3月16日（日）

例年と同じく、小学校3年生の体験学習に対応できるような「ちょっと昔の道具」（明治時代後期～昭和時代終戦後頃）を展示しています。

今回のサブテーマは、「低地のくらし」です。昔の羽島は、低地のため水害に悩まされてきました。水害から生活を守るため、薩摩藩による宝暦治水工事は非常に大きな役割を果たしました。また輪中堤で村を守り、水屋を立てるなど自衛の工夫をしてきました。その歴史を紹介しながら、水と戦ってきた人々のくらしを振り返ります。

令和6年度年度「映画のつどい」実施報告

〈 月別鑑賞者数 〉

開催日	題 名	鑑賞者 数
4月13日	男はつらいよ 望郷篇	鑑賞者 73 人（午前 50 人 午後 23 人）
5月11日	十七人の忍者	鑑賞者 120 人（午前 66 人 午後 54 人）
6月8日	絶唱	鑑賞者 125 人（午前 78 人 午後 47 人）
7月13日	二つのハーモニカ	鑑賞者 198 人（午前 139 人 午後 59 人）
8月10日	一心太助 男の中の男一匹	鑑賞者 65 人（午前 36 人 午後 29 人）
9月14日	夜の鼓	鑑賞者 91 人（午前 39 人 午後 52 人）
10月12日	秋刀魚の味	鑑賞者 89 人（午前 46 人 午後 43 人）
11月9日	蒲田行進曲	鑑賞者 90 人（午前 44 人 午後 46 人）
12月14日	裸の大將	鑑賞者 81 人（午前 37 人 午後 44 人）
1月11日	二階の他人	鑑賞者 65 人（午前 24 人 午後 41 人）
2月8日	愛染かつら 総集編	
3月8日	ひばり・橋の花と喧嘩	
11月2日 11月3日	優秀映画鑑賞推進事業 第1回・第2回 第1回・第2回	「エノケンの頑張り戦術」12人「大当り三色娘」28人 「ニッポン無責任時代」26人「君も出世ができる」19人

〈 年間鑑賞者数 〉

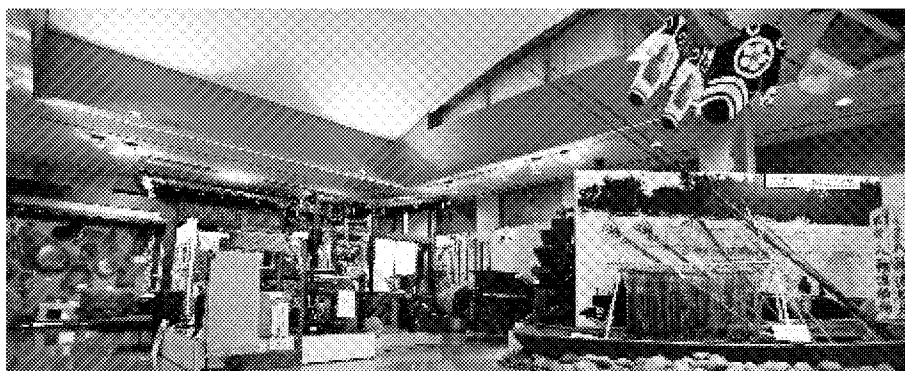
年 度	鑑賞者数	月平均	
平成28年度	1 5 9 9 人	1 3 3 人	
平成29年度	1 5 6 3 人	1 3 0 人	
平成30年度	1 6 1 3 人	1 3 4 人	
令和元年度	1 4 5 0 人	1 4 5 人	
令和2年度	2 3 1 人	4 6 人	4月から10月まで中止
令和3年度	6 7 7 人	8 4 人	6月、9月、2月、3月中止
令和4年度	9 6 4 人	8 0 人	
令和5年度	1 1 4 1 人	9 5 人	
令和6年度	9 9 7 人	1 0 0 人	1月まで

羽島市歴史民俗資料館年度別入館者数



	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
入館者数	11,505	8,416	8,331	2,191	4,080	4,881	6,133	7,150

R7.1月まで



西中野渡船（木曽川）を体験し 今も残る水屋を見学しよう！

【 令和 6 年度夏休み歴史教室（小学生対象） 】

1 歴史教室の開催について

羽島市中下町に建設中の新濃尾大橋がいよいよつながりました。2025年には通行が可能になりそうです。完成すれば、現在木曽川で唯一運航されている「西中野渡船」が廃止されるとうわさもあります。また、昔羽島市は水害に悩まされていたため、水害から生活を守るために水屋と呼ばれる建物が造られました。堤防工事が進み、水害の心配が少なくなり、建物が古くなったため、その水屋の多くが壊され、その数も少なくなってきました。

今回の歴史教室は、羽島市の歴史を知るうえでとても貴重な「渡し」を体験するとともに、人々の生活を水害から守った「水屋」の見学を計画しました。

2 日時・集合場所・交通手段

日 時：令和 6 年 8 月 6 日（火） 午前 8 時 30 分～12 時 00 分

集合場所：羽島市歴史民俗資料館

移動：マイクロバスで移動

3 参加人数

市内の小学校 4～6 年生 児童 7 名 保護者 3 名 記者 1 名

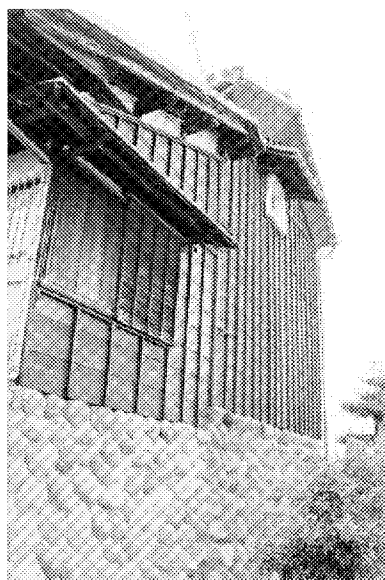
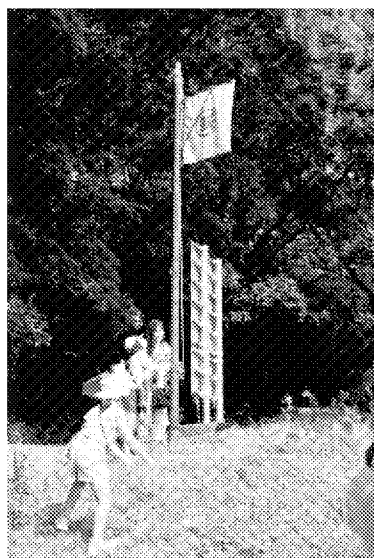
4 主 催

羽島市生涯学習課・羽島市歴史民俗資料館

5 見学地など

① 新濃尾大橋・西中野渡船乗船・石田の猿尾（見学）

② 羽島市に残る「水屋」（見学）



【 寄贈採納 】 ①

■民俗資料

採納月日	採納者	品 名	数量	形状	備 考
令和 6 年 5 月 24 日	愛知県 M.F さん	・エルモ C-300 ・エルモ ZOOM8-TL 8 ミリフィルムカメラ ・エルモ スーパー-8 サウンド 1012S-XL マクロ ・エルモ 8R-T ・エルモ 8-AA	1 1 1 1 1 計 5		寄贈者はエルモ社で勤務しており、退職時にいくつかの製品を譲り受けたもの 昭和30年～50年頃に製造された貴重なものとなる
令和 6 年 7 月 26 日	岐阜市立図書館	・美濃国中島郡須賀村地内逆川通悪水吐捕御普請出来形帳	1 計 1		岐阜市立図書館へ寄贈された和書だが、羽島市の逆川に関する文書のため、羽島市へ寄贈となった 文久元年（1861）に逆川筋を埋まった悪水を放出する工事の出来形帳
令和 6 年 9 月 13 日	長野県 S.K さん	・16mm シネカメラ スクーピック 16MS(J) ・神山征二郎監督の自筆額「草の乱」に絡んだ詩 ・「草の乱」シナリオ箱書き（図書） 加藤氏遺稿 ・シナリオ（台本）『草の乱』 ・神山監督による手書きの脚本『あゝ最後の早慶戦 強打者 近藤青の特攻』 ・拡大写真額 演出中の神山征二郎監督（『宮澤賢治—その愛—』より）	1 1 1 1 1 1 計 6		今年度の第2回企画展でお世話になった岐阜県出身の映画監督、神山征二郎さんより企画展の終了にともない貴重な品々の寄贈を受ける 寄贈いただいた品は資料館2階で展示中
令和 6 年 12 月 12 日	愛知県 A.K さん	・中島郡城井村絵図 ・中島郡城井村絵図 ・最新京都地図 ・古新聞 ・木箱 蓋 ・令旨「栗田御殿御令旨」 ・令旨「青蓮王府御令旨」 ・覚 他	19 17 1 1 1 1 1 5 計 46		羽島市城井町の加藤家（地主屋）にあったもので、羽島市の城井村の絵世対第壹号から第拾九号までの19枚を組み合わせて、一枚の城井村全体の絵地図となる

採納月日	採納者	品 名	数量	形状	備 考
令和 6 年 12 月 12 日	羽島市 K.M さん	・教育関連図書 ・帝国軍関連図書 ・宗教関連図書	13 6 27 計 46		江戸末期から大正時代にかけての教書 特に江戸末期に製作された宗教関連の図 書は貴重な史料である
令和 7 年 1 月 23 日	羽島市 K.K さん	・公文書 支配に関する書 ・公文書 土地に関する書 ・公文書 貢租に関する書 ・公文書 村政に関する書 ・公文書 土木水利に関する書 ・公文書 産業に関する書 ・公文書 交通に関する書 ・公文書 社会に関する書 ・公文書 文化に関する書 ・私文書 家に関する書 ・私文書 家室に関する書 ・私文書 生活文化に関する書 ・分類不明の古文書	29 5 180 63 19 57 38 13 6 19 339 113 117 計 998		現在の足尾町にかつてあった間の宿(あいのしゅく)の主であった加藤家へ保管されていた多数の古文書を現在の当主から寄贈を受けた 当時の庶民の生活が伺い知れる興味深い史料であり、企画展での展示を計画中

【 寄贈採納 】 ②

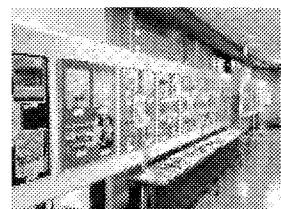
■映画資料

採納月日	採納者	品 名	数量	形状	備 考
令和6年6月14日	関市 シネックス マーゴ	・B1ポスター 邦画 洋画 アニメ ・B2ポスター 邦画 洋画 アニメ ・チラシ 邦画 洋画 アニメ	156 106 42 89 51 35 278 94 127 計 978		
令和6年6月14日	岐阜市 CINEX	・B1ポスター 邦画 洋画 ・B2ポスター 邦画 洋画	94 194 85 178 計 551		
令和6年7月4日	愛知県 T.N さん	・洋画ポスター ・邦画ポスター ・アニメポスター ・邦画写真ニュース ・邦画 プレスシート ・邦画 宣材 ・邦画 チラシ ・昭和レトロポスター ・戦時中映画上映ポスター ・戦後映画上映宣伝ポスター	4 80 1 66 24 51 1 19 1 4 計 251		愛知県在住で昭和初期の映画資料をコレクションされている方からの寄贈 戦時中（1942年）の映画宣伝ポスターはほとんど存在しておらず非常に貴重な品
令和6年9月13日	京都府 K.K さん	・洋画ポスター ・邦画ポスター	967 82 計 1049		寄贈者はジョンウェインさんとも交友があった方で、西部劇映画の熱狂的なファンでありコレクター 縁があり当資料館へ貴重な品々の寄贈を受ける 大量の寄贈数であるため、2回に分けての寄贈を続ける予定で、今回はその1回目 来年度の企画展を計画中

令和6年度 マイコレクション展実施報告

1. 令和6年4月6日（土）～5月19日（日）

「市制70周年記念 広報はしま展」 羽島市役所秘書広報課



2. 令和6年5月25日（土）～7月15日（月）

「創作和紙細工展」 創作和紙細工 紙楽さん

■ワークショップ 「和紙人形のモビール作品づくり体験」

・日 時 令和6年6月16日（日）13時から15時

・参加者：7名

■ワークショップ 「熱帯魚のモビール作品づくり体験」

・日 時 令和6年7月7日（日）13時から15時

・参加者：10名



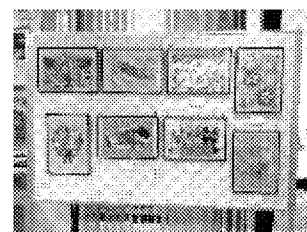
3. 令和6年7月20日（土）～9月1日（日）

「ペーパーリーフアート展」 岩越さん

■ワークショップ 「夏休みの作品をつくろう」

・日 時：令和5年8月3日（土）13時30分から15時30分

・参加者：10名



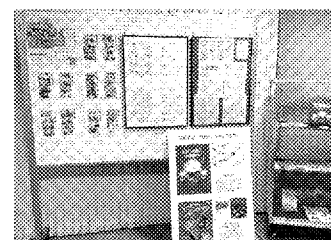
4. 令和6年9月7日（土）～10月27日（日）

「まんが・イラスト展」 広東さん

■ワークショップ 「オリジナル塗り絵講座」

・日 時：令和6年9月29日（日）13時から15時

・参加者：24名



5. 令和6年11月2日（土）～12月22日（日）

「円空彫り作品展」 はしま円空木彫り同好会

■ワークショップ 「はじめての木彫り体験」

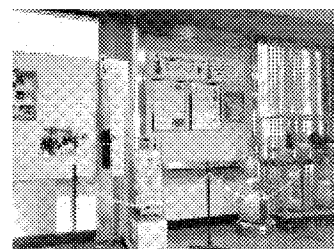
・日 時：令和6年11月23日（土）13時から15時

・参加者：14名



6. 令和7年1月11日（土）～3月23日（日）

「ひょうたん展」 森さん



～ きて、みて、たのしく体験できる資料館 ～

①「歴史をつなぐ資料館」＝資料の収集・保存に努める

- ☐ 郷土の歴史や民俗、映画資料等（以下資料）の収集・整理、計画的な寄贈受け入れ
- ☐ 資料の調査及び研究、整理分類
- ☐ 常設展示物の日常管理の強化と入替えによる資料の保存保管
- ☐ 収蔵庫・展示室の計画的で複数の方法を組み合わせた資料の保存・保管

②「歴史をひらく資料館」＝郷土の歴史・映画文化の魅力を発信する

- ☐ 市民に親しみがあり、参加型・協働型など魅力ある企画展の開催（年4回）
- ☐ 懐かしいフィルム上映による「映画のつどい」の開催（毎月第2土曜日）
- ☐ 文化庁主催による「優秀映画観賞事業」の開催（11月）
- ☐ H P・facebook などによる豊かな情報発信（企画展VRなど）
- ☐ 報道機関・マスコミ関係への積極的な情報提供
- ☐ 市民への資料館事業の啓発（回覧板・地域掲示板の活用）
- ☐ 常設展示品・収蔵品・新規寄贈品の積極的な入れ替えと有効活用
- ☐ 県や他市町の資料館や映画関連団体などとの連携協力

③「市民をつなぐ資料館」＝市民に開かれ、参加・体験できる

- ☐ 生涯学習の成果としての「マイコレクション展」の充実
- ☐ 参加型ワークショップやイベントの積極的な開催と広報活動
- ☐ 小中学生の入館無料措置（イベントへの参加促進）
- ☐ 夏休み歴史教室（小学生対象）の開催
- ☐ 魅力ある体験学習の場の提供と学習支援（昔のくらしと道具展など）
- ☐ 自ら学ぶ意欲を高める「古文書学習会」「俳句教室」の開催
- ☐ 市適応教室との連携（児童生徒への場の提供）
- ☐ 自主サークル活動の支援（古文書サークルなど）
- ☐ ぐるっと羽島・山車会館・竹鼻町屋ギャラリーとの連携強化

④「危機管理に努める資料館」

- ☐ 感染症予防の対策の継続
- ☐ 災害発生時の対応の徹底（避難訓練の実施や経路の確認）
- ☐ 修繕箇所の早期発見と早期対応
- ☐ パソコンのセキュリティーポリシーの遵守
- ☐ 各種事業におけるアンケートの有効活用
- ☐ 職員の資質向上、自己研鑽、情報共有
- ☐ 関係機関との連携強化、情報共有

歴史民俗資料館運営協議会（館の適切な運営のための助言・指導）

市地域振興公社（委託管理）

市民協働部／生涯学習課（運営指導）

令和7年度 事業計画（案）

1. 企画展（年4回）

〈別紙〉

2. イベント

- ・第8回テツドウモケイ運転会〈10月25日（土）26日（日）〉

3. 映画のつどい（毎月第2土曜日）

〈別紙〉

4. 優秀映画鑑賞会

- ・主 催：国立映画アーカイブ、特別協力：文化庁など
- ・開催日：11月8日（土）、9日（日）予定 4本上映 希望提出済

5. 「昔のくらしと道具展」／小学生（3年）体験学習

第4回企画展に併せて実施予定

6. 夏休み歴史教室（小学生対象）

- ・次年度内容を検討、小学校に募集

7. マイコレクション展・ワークショップ

〈別紙〉

- ・マイコレクション展（5回）
- ・ワークショップ（4回）

8. 古文書学習会

- ・開催日 令和7年5月から毎月第4土曜日（全11回）
- ・会場 羽島市歴史民俗資料館 研修室
- ・講師 高木 先生（令和7年度より）
- ・年会費 2,000円にて公募

9. 俳諧歴史入門

- ・開催日 令和7年5月から毎月第1金曜日（全11回）
- ・会場 羽島市歴史民俗資料館 研修室
- ・講師 高木 先生
- ・年会費 2,000円にて公募

10. その他特記事項

- ・資料館企画展、映画のつどい、優秀映画鑑賞会、マイコレクション展示、ワークショップ講座紹介など
☞ 年4,5回回覧板にて市内回覧（継続）
- ・自主サークル（古文書）の活動支援（毎週1回開催）

令和7年度 企画展 (案)

〈タイトルは仮題〉

○ 企画展1 前半

「ジョン・ウェイン展」

2025年4月1日(火)～5月18日(日)

2年前、京都の川辺氏が、ご自身の映画コレクションを寄贈できる場所を探しておられ、近藤相談役に相談されました。その中で、川辺氏は当館に信頼を寄せてくださり、映画のポスターやプレスシート、チラシ等2,000点以上を寄贈されました。コレクションには、当館が所蔵していない西部劇関係の資料も多く、映画文化資料として貴重な物です。このコレクションをもとに、企画展を開催します。

前半は、川辺氏が最も敬愛するジョン・ウェインの足跡をたどりながら当時の映画及びその関係者の逸話を紹介します。ジョン・ウェインは、アイオワの薬剤師の息子として生まれ、大学ではフットボールに取り組んでいましたが、その後俳優を志しました。大道具係を経て、1926年に衛兵役で初めて映画に出演し、1939年ジョン・フォード監督作品「駅馬車」でスターの座を確立すると、フォード監督の下で数々の名作に出演。“西部劇のジョン・ウェイン”として、その名前は世界中に知れ渡りました。1969年にはヘンリー・ハサウェイ監督作品「勇気ある追跡」で、アカデミー主演男優賞を獲得しました。生涯に153本の長編映画、3本の連続物の他、数多くの短編に出演していますが、不遇時代には名前がクレジットされていない映画もあり、正確な総出演作品数は特定できません。

また、生涯3度の癌手術を受けましたが、映画出演を続け、術後脇役に退くことなく、癌に冒された老ガンマンを演じた「ラスト・シューティスト」まで、主役の座にあり続けました。

○ 企画展1 後半

「ハリウッド黄金時代展」

5月31日(土)～7月21日(月・祝)

フランク・キャプラの名作「スミス都へ行く」の日本公開は太平洋戦争直前の昭和16年ですが、これ以後洋画の輸入は禁止されました。また、戦後はGHQが規制していて、ごく一部の洋画しか日本で見ることはできませんでした。しかし、昭和26年9月にサンフランシスコ講和条約が結ばれると洋画の輸入が自由化され、翌年から過去の名作、大作が一気に押し寄せました。この年、京都の呉服店に務め始めた16歳の川辺氏は、輸入自由化により大阪にできたばかりのパラマウントやユニバーサル、ワーナーブラザーズなど、ハリウッド映画の日本支社に出入りし、映画のポスターやプレスシート、スチル写真などを収集し始めました。川辺氏が収集した洋画の資料は1940年台から1960年台のものが主ですが、この30年間はハリウッド映画の黄金期です。川辺氏に寄贈していただくまで、当館のハリウッド黄金期の所蔵資料は僅かでした。川辺氏のコレクションには今では失われているポスターなどが数多く含まれていることから、希少価値の高い資料を中心にハリウッドの歴史をたどります。

○ 企画展2

「間の宿 加藤家にまつわる古文書展」

8月2日(土)～9月28日(日)

加藤家文書等の寄贈を受け、令和3年には「関札」などの展示物を展示しました。ただ、新型コロナウイルス感染症の流行のため短期間の展示となってしまいました。展示当時はまだ文書の解説・整理が進んでい

ませんでした。現在、当館の古文書サークルの皆さんが加藤家文書の解説・整理に加わっていただき、作業を進め、歴史像の構築を進めています。美濃路の起本陣から墨俣脇本陣の間に置かれた休憩所「間の宿」は、現足近町内におかれていました。この経営・維持を務めていた加藤家の文書を読み解き、整理していく作業の中で、「間の宿」の経営や当地での様々な出来事にかかわった人々の様子やくらしぶりがみえてきました。

今回の企画展では、古文書の解説・整理の進捗状況を紹介するとともに、学習会や分類・整理をする中で分かってきたことをもとに、美濃路をめぐる近世の社会の様子や人々のくらしぶりを描くことができる展示内容を考えています。当館の古文書サークルの皆さんとの協働で開催する企画展です。

○ 企画展 3

「名鉄フォト・絵画展」

10月11日（土）～12月14日（日）

令和3年に「名鉄線開通100周年展」を開催させていただいたところ、大変好評で企画展後も竹鼻線の思い出を資料館に来てお話しくださる方、竹鼻線を利用していた青春時代の出来事や竹鼻線への思いを語ってくださる方が多数おみえでした。今も当時の展示物や「テツドウモケイ運転会」についての問い合わせがあり、「大人も参加できる企画はないか。」などのお問い合わせやご要望があります。このような皆様のお声をもとに、3年ぶりに『鉄道と私』と題して企画展を開催します。

今、鉄道写真はジャンルも多彩になり、一人一人が個別のテーマをもって撮影をされています。また、絵画においても、日本画・洋画・デザイン等の絵画の分野を問わず様々な表現の作品があります。「名鉄フォト・絵画」を広く募集し展示紹介をすることで、写真・絵画の文化史の現在をご紹介できる市民参加型の企画展を開催しようと考えています。加えて、今回も『ぎふトレ』の皆さんのご協力を得て、家族で楽しめる「テツドウモケイ運転会」を期間内に開催します。

○ 企画展 4

「昔のくらしと道具展」

2026年1月6日（火）～3月15日（日）

「昔のくらしと道具展」は、明治時代から昭和40年代くらいまでの私たちの生活に浸かってきた道具を展示し、時代の移り変わりを紹介します。私たちの郷土がどのように発展し変わっていったのか、今とどう違うのか、今昔を資料を見ながら振り返ります。

教育支援の企画展として現在の小学校社会科のカリキュラムにあわせ、小学校3年生の学習内容に沿った内容で、教室では十分体験できない「リアル」を重視した、実際の昔の生活道具を見て触って感じ取り、考えていく体験学習を組み込んでいます。一般の来館者の方々も一部体験が可能であり、子供はもちろん家族で楽しめる展示会です。

令和7年度 マイコレクション展実施予定

1. 令和7年4月1日（火）～5月25日（日）

「手描きブラックボード POP 展」 佐藤さん

■ワークショップ 「カラフル水族館」ブラックボードに専用マーカーで描く

- ・日 時 令和7年5月17日（土）13時から15時
- ・参加費 材料費として700円
- ・定 員 20名程度

2. 令和7年6月1日（日）～8月10日（日）

「光のアート・万華鏡の世界へ展」 長浜さん

■ワークショップ 「選んで作ろう万華鏡」14種類のデザインから選びます

- ・日 時 令和7年8月2日（土）13時から15時
- ・参加費 材料費として1本1000円
- ・定 員 20名程度

3. 令和7年8月14日（木）～10月12日（日）

「立体デコグラフィ展」 3D大学さん

■ワークショップ 「立体カード 立体ノートを作ろう」

- ・日 時：令和7年8月23日（土）13時から15時
- ・参加費：材料費として立体カード300円 立体ノート500円
- ・定 員：20名程度

4. 令和7年10月19日（日）～12月25日（木）

「ドライフラワー展」 村山さん

■ワークショップ 「クリスマスリース作り」

生花からドライフラワーになるのを楽しみます。

- ・日 時：令和7年12月6日（土）13時から15時
- ・参加費：材料費として3900円
- ・定 員：10名程度

5. 令和8年1月10日（土）～3月22日（日）

「円空彫り作品展」 はしま円空木彫り同好会